

令和元年度 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

開催日時 令和2年2月6日（木） 午後1時30分から午後2時30分まで

開催場所 総合福祉保健センター4階会議室

出席委員 委員 9名

石川宏貴会長、赤岩けさ子副会長、杉山一寿委員（代理 藤川佳苗氏）、滝口順子委員、吉野たず子委員、横井隆子委員、和田多恵子委員、今井崇徳委員、関根延年委員

欠席委員 委員 1名

石川広己委員

事務局 健康増進課本間課長・館岡主幹・鎌田予防係長・舟波成人保健係長・角田主査・並木主任栄養士・氏家歯科衛生士
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 山下氏 深町氏

傍聴者 0人

配布資料

- ・「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」進捗状況について（資料1）
- ・保健目標（資料2）
- ・鎌ヶ谷市民健康意識調査調査報告書（案）（資料3）
- ・鎌ヶ谷市民健康意識調査調査報告書 概要版（案）（資料4）
- ・第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画について（案）（資料5）
- ・歯と口の健康づくり推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画について（案）（資料6）
- ・令和元年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び令和2年度参加について（案）（資料7）
- ・第二次いきいきプラン健康かまがや21 概要版（資料8）

議題等

- (1) 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について
- (2) 第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画（案）について
- (3) 歯と口の健康づくり推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度

事業計画（案）について

- (4) 「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」策定及び市民健康意識調査報告について
- (5) 令和元年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び令和2年度参加について（案）

会議の概要

1 会長、副会長選出

会長に石川宏貴委員、副会長に赤岩委員を選出（横井委員からの推薦）

会議録署名人の選任について

会議録署名人に和田委員、今井委員を指名

2 議題

(1) 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について

石川会長： 議題の1「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について、事務局説明をお願いします。

事務局： まず初めに、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」についての概要をご説明いたします。

資料は、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の概要版をご覧ください。この計画は、平成23年度から令和2年度までを計画期間としております。2ページ中ほどに第二次計画の位置づけが書いてございますが、本計画は、鎌ヶ谷市総合基本計画の施策のひとつである『健康を支える保健・医療の充実』の行動計画として、策定されたものです。

次に計画の構成をご覧ください。本計画では、【健康づくり領域】として、5つの領域がございます。また、それぞれの領域には、特に力を入れて取り組む項目として【重点対策】を設けています。

3ページをご覧ください。この図は計画全体のイメージです。一番上に『鎌ヶ谷市総合基本計画』がございまして、「誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会の実現」を目指しております。次に「いきいきプラン・健康かまがや21」と「食育推進計画」がございまして、

また、中ほど、黒い部分の「健康づくりの各領域」の下に、健康づくりを支える地域医療がございまして、毎年、地域医療の動きについても確認しているところでございます。

以上が、計画の大きな概要となっておりますが、各領域の概要につきまして

は、5ページ以降を参照していただければと思います。

では、資料1をご覧ください。令和元年度までの進捗状況をご報告いたします。

1ページに進捗状況の概要として、各領域の重点対策をまとめました。次に2ページ以降は、「健康づくりの各領域」の詳細となっております。左側には、計画書に書かれていること、及び計画の推進を開始した平成23年度に取り組んだこと、そして右側へ順に平成29年度、平成30年度、令和元年度中に取り組んだことが並んでおります。令和元年度のところを見ていただくと、ところどころ太字の部分がございしますが、これは、これまでの取り組みに加えて、拡充や、新たに取り組んだこととなります。

それでは、各領域の重点対策について、進捗状況の内容をご説明いたします。

まず《**栄養・食生活**》につきましては、重点対策は「食育の推進」となっております。第2次食育推進計画（平成28年度から平成32年度）に基づき、「朝食を食べる人を増やす」など、若い世代が、正しい食生活を実践するための支援に、重点的に取り組みました。令和元年度の新たな取り組みといたしましては、「第三次鎌ヶ谷市食育推進計画」に向けて、多数の市民の参画を求める観点から、食育推進部会にPTA連絡協議会と市民公募委員を増員し2名ずつとしました。食育講座では1回目を「ロコモティブシンドローム」をテーマに医師、保健師、管理栄養士、健康づくりボランティアと連携して実施いたしました。2回目は若い世代に食文化を楽しんで学べるようテーマを設定し、定員を超える申し込みがあり、今後実施予定でございます。

次に3ページをご覧ください。《**身体活動・運動**》の重点対策の1つ目、「気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進」につきましては、まなびい大学しあわせ学部主催事業として、生活習慣病予防講座とこころの健康講座をアンチメタボ講座として、メタボ予防講義、睡眠、運動の3日間で実施いたしました。また昨年同様、NPO法人健康都市活動支援機構との協働事業により、自主ウォーキング団体や健康づくりボランティア、ヘルスメイト等と共にウォーキング講座を実施し、運動・栄養・交流を併せた啓発を行いました。

また、重点対策の2つ目、「きらり鎌ヶ谷体操の普及啓発」については、きらり鎌ヶ谷体操指導者による定期的な普及活動を継続支援するとともに、NPO法人健康都市活動支援機構との協働で、ボランティア活動PRのためのDVDを作成いたしました。さらに公立保育園の3～5歳児を対象に普及活動を開始いたしました。

来年度も引き続き、今年度と同様に身体活動・運動の推進に取り組んでまいります。

次に4ページをご覧ください。《**休養・こころの健康づくり**》の重点対策の1つ目、「親子のふれあいを大切にする活動の推進」では、毎月行われる4か月児健康相談時に親子のふれあいの大切さを伝える、『ブックスタート事業』

を子育て支援センターや図書館と共に実施しております。今年度は新規ボランティア研修会を実施し、5名のボランティア登録がございました。新規と継続ボランティアが交流する機会を設け、目的や意義の理解や意欲の向上につながりました。

来年度もブックスタートの活動が地域でも広がるよう啓発活動に取り組んでまいります。

重点対策の2つ目「自殺予防対策の推進」では、新たに青少年センター所長を会議のメンバーに加え自殺対策連絡会議を実施し、事業の棚卸の報告や自殺対策計画の流れについて共有が図れました。自殺対策計画策定に向けて棚卸作業の見直し、施策の分類・指標の設定を依頼しまとめることができました。市民への啓発として精神保健学習会およびこころの健康講座を述べ59名に実施いたしました。さらに精神保健学習会や保健師の地区活動等様々な機会でごートキーパーの健康教育を行い、周知啓発をすることができました。

来年度も引続き、自殺予防対策の推進を図ってまいります。自殺対策計画につきましては、第3次いきいきプラン・健康かまがや21に統合し、策定していく予定です。

次に5ページをご覧ください。《**歯と口の健康づくり**》の重点対策の1つ目、「永久歯のむし歯と歯周病予防の推進」では、船橋歯科医師会のご協力をいただき、市の実施計画事業である「フッ化物洗口事業」を継続しております。フッ化物洗口対象者を全小学校において毎年1学年ずつ拡大し、令和元年度は、市内の保育園・幼稚園の4歳から小学6年生まで、そして、中学校の特別支援学級の児童生徒が実施しております。また、新たに保育園2園でも開始され、現在では、29施設6,949人が洗口を実施しており、確実に子どもたちのむし歯は減少しております。中学1年生のむし歯数で見ますと、計画策定時の平成22年度に一人平均1.2本だったものが、令和元年度には0.87本と年々減少してきております。

また、歯周病予防の推進では、若い時からの歯周病予防を推進するため、歯周病検診の20歳・30歳・40歳の未受診者に対して、受診勧奨を実施し、若い世代からの予防の意識付けにつながりました。

重点対策の2つ目「口からはじめる「食育」の推進」につきましては、特定健診の間診項目に「噛むこと」に関する事項が追加されたため、特定保健指導時「カミング30」の大切さについて、リーフレット等の展示や配布、周知を行いました。

来年度も引続き、フッ化物洗口事業は小学校全校全学年実施し、また、歯周病検診につきましては、引続き若い層への働きかけを行い、受診勧奨を行ってまいります。

次に6ページをご覧ください。《**疾病予防**》の重点対策の1つ目、「生活習慣病予防の推進（がん対策）」につきましては、肝炎ウイルス検診の受診勧奨

を40歳から70歳までの5歳刻みで実施し、肝炎ウイルス検査のフォローアップ事業を今年度から開始いたしました。また、胃内視鏡検査の導入のため現在調査、協議中です。今後研修会を実施予定となっております。

重点対策の2つ目、「生活習慣病予防の推進(特定健康診査・特定保健指導)」では、継続受診を促すため、前年度受診者及び40歳の受診者の自己負担を軽減する「ワンコイン受診」を継続しております。また、特定保健指導参加のきっかけ作りとして、バランスメニューの試食を取り入れた集団指導や医師の講演付きヘルスアップセミナーを実施いたしました。未受診者対策としてAIで未受診者のデータ分析を行い、対象者の特性に合ったはがき内容で受診勧奨を実施いたしました。さらに市民が分かりやすく健診結果を把握できるよう、3年分の経年結果をカラー印刷で送付いたしました。

重点対策の1つ目2つ目につきましては、来年度も今年度同様に取り組んでまいります。

重点対策の3つ目、「感染症予防の推進」では、抗体保有率の低い世代としてこれまで風疹の予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に風疹の抗体検査と予防接種を実施いたしました。さらに市民が安心して出産できる環境を整えることを目的として、風疹等の予防接種費用助成事業を実施いたしました。

また、今年度も継続して平成28年度に作成した「鎌ヶ谷市新型インフルエンザ等対応マニュアル及び業務継続計画」を全庁的に依頼し、見直し改定いたしました。

次に、8ページをご覧ください。《地域づくりを支える医療について》ですが、一昨年度11月末【※資料には「昨年度11月末」の記載になっていたため、口頭にて訂正】に開設しました「かまがや安心医療ナビシステム」について、8月に掲載機関の調査・修正を行いました。

また、千葉県災害医療救護計画に基づき、鎌ヶ谷市の衛生医療班マニュアルを改訂いたしました。医療救護関係者の打合わせ会を開催し、発災時における連絡方法等の確認や実践的な内容で災害シミュレーションを行い内容を充実することができました。

つづきまして、資料2の保健目標をご覧ください。

保健目標は「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の計画全体の評価のために設定しました。上位の保健目標、「自分の健康に満足している人の割合は58.5パーセントで増加しており、子育て親育ち期の保健目標につきましては、おおむね、目標数値に近づいております。

青壮年期・高齢者の保健目標につきましては、計画策定当初と比較し、高血圧等の基準値が厳しくなったこと、また、高齢化に伴い、現状値が上がっているものと思われます。今後診断された人が適正な医療を受け、重症化しないような支援を検討していきたいと考えております。

以上、第二次いきいきプラン・健康かまがや21の主な進捗状況となります。

「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」につきましては、11月に実施した市民健康意識調査を基に評価を行い、令和2年度に次期計画策定に取り組んでいく予定となっております。今後とも委員の皆さまのご協力をお願いいたします。

石川会長： ただ今の「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についてご意見、ご質問等ございますか。

石川会長： 現在、新型コロナウイルス感染症の対応や災害時の対応検討等で忙しいと思いますが、よろしく申し上げます。

(2) 第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画（案）について

石川会長： 次は、議題の2、「第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画（案）について」報告をお願いします。

事務局： それでは、食育推進部会事務局から、食育推進部会の報告をいたします。

まず、令和元年度事業についてご報告いたします。資料5をご覧ください。1の会議です。4月10日に16名、6月20日に16名、10月31日に15名で行い、第4回目を2月12日に、第5回目を3月16日に実施予定です。内容は、平成30年度事業の報告、令和元年度事業の検討、次期食育推進計画策定について、食育まつりのコンクール審査と打合わせになります。今後は、令和元年度事業のまとめと令和2年度事業計画及び次期計画策定に向けて話し合いをする予定です。また、会議内では、分野における第2次鎌ヶ谷市食育推進計画の進捗状況を共有しました。

2の研修会、勉強会です。研修会は8月9日に17名で行い、各分野の取り組み紹介と質疑応答を行いました。勉強会は、6月6日に開催し、第2次鎌ヶ谷市食育推進計画の評価方法と第3次鎌ヶ谷市食育推進計画の策定に向け、千葉県立保健医療大学の荒井先生と海老原先生にご指導いただきました。

3のイベント「みんなの食育まつり～野菜を食べよう大作戦！！～」の開催です。今年度のコンクールは「食川柳コンクール」と「食べる喜び写真コンクール」を開催しました。食川柳コンクールでは、一般の部13作品、子どもの部413作品、写真コンクールでは一般の部4作品、子どもの部16作品の応募がありました。入賞者は資料のとおりです。

イベントは子どもから大人までが参加できる形式ということで、総合福祉保健センターの6階大会議室を使い、講演、試食配布、食育クイズ、展示を行いました。講演は「噛む食べる生きる」と題し、歯学博士で料理研究家の田沼敦子氏にお願いをしました。試食配布では、鎌ヶ谷高校の料理研究部にご協

力いただき、鎌ヶ谷産の野菜を使用した「大根の唐揚げ」と「かぶのポタージュ」を提供しました。

4のその他として、食川柳コンクールの応募作品をまとめた作品集を作成し、来場者及びコンクール応募者やコンクール周知にご協力いただいた学校、保育園、幼稚園に配布いたします。

続いて、令和2年度事業についてご説明いたします。

令和2年度に第3次鎌ヶ谷市食育推進計画を策定するにあたり、内容の検討を実施することから、会議の開催は例年の3回から5回に増やしています。日程は資料のとおりです。研修会は8月18日、食育まつりは1月16日の予定です。

令和2年度のイベントについては、今年度のイベントが1月18日に終了しましたので、それを踏まえ、次回2月の食育推進部会で詳細を検討する予定です。

食育推進部会の令和元年度事業報告と令和2年度事業計画のご説明は以上です。

石川会長： ただ今の食育推進部会からの報告についてご意見、ご質問等ございますか。

(3) 歯と口の健康づくり推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画(案)について

石川会長： 次は、議題の3、「歯と口の健康づくり推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画(案)」について事務局より報告をお願いします。

事務局： 歯と口の健康づくり推進部会事務局から、令和元年度事業の報告及び令和2年度事業計画(案)の説明をいたします。

まず、令和元年度事業についてご報告いたします。資料6をご覧ください。歯と口の健康づくり推進部会は平成23年度より活動をし、平成27年度からは一度休会をしておりました。しかし、次期計画策定のため今年度から再開をし、年3回関係者の方々と会議をし、研修会を1回実施いたしました。委員の皆様には、この歯と口の健康づくり推進部会を通して、委員間の連携を深め、歯や口の健康づくりを推進することを目的として活動していただいております。その成果として、今年度取り組んだこととその結果についてご説明いたします。

1. 永久歯のむし歯と歯周病予防の推進

(1) むし歯予防対策

- ①フッ化物洗口を保育園(11園)・幼稚園(8園)で継続し、保育園では新たに2園でフッ化物洗口を開始することができました。小学校では、今年度から全校全学年にてフッ化物洗口を安全に実施することができました。中学校は、特別支援学級(1校)においてフッ化物洗口の支援を

実施した。子どものむし歯は確実に減少しており、計画策定時の平成22年度と比較すると、12歳児（中学1年生）のむし歯は、一人平均1.2本が、令和元年度は、0.87本であり、確実に減少しています。

- ②「こどもたちの歯と口の健康をまもるために～鎌ヶ谷市のフッ化物洗口～」をテーマに、歯と口の健康づくり推進部会員の関係者を対象に、むし歯予防のためのフッ化物の効果等について、講演会形式で歯と口の健康づくり研修会を実施しました（講師：東京歯科大学衛生学講座眞木吉信名誉教授）。

（2）歯周病予防対策

若い世代からの歯周病予防対策として、歯周病検診において、未受診者に対して受診勧奨通知を送るなど、若い世代への予防の意識付けに力をいれました。

2. 口からはじめる「食育」の推進

（1）カミング30（カミングサンマル）の周知

特定保健指導や中学1年生によく噛むことの大切さを啓発するためのリーフレットを配布し周知しました。

（2）健口体操の普及啓発

誤嚥性肺炎を予防し、安全でおいしく食事をするため、きらり鎌ヶ谷かお体操や健口体操をアンチエイジング講座や介護予防講座、談話室等で普及啓発しました。

続いて、令和2年度事業についてご説明いたします。

令和2年度は、次期計画策定の年にあたり、年3回の会議を例年より前倒して実施いたします。日程は資料の通りとなっております。

また、次年度の歯と口の健康づくり研修会については、今年度同様実施する予定です。

なお、内容等につきましては現在協議中となっております。

歯と口の健康づくり推進部会の令和元年度事業の報告及び令和2年度事業のご説明は以上になります。

石川会長： ただ今の「歯と口の健康づくり推進部会における令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画（案）」についてご意見、ご質問等ございますか。

石川会長： 「かみんぐ30」の「30」は、どこからきていますか。

事務局 「30回よく噛む」の「30」です

石川会長： ありがとうございます。他ご意見なければ次へ進めます。

（4）「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」策定及び市民健康意識調査報告について

石川会長： 次は、議題の4、「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」策定及び市民健康意識調査について事務局より報告をお願いします。

事務局 それでは、私から「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」策定及び市民健康意識調査」についてご説明させていただきます。

「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」は第3次食育推進計画・自殺対策計画を含む計画で令和2年度に策定の予定になっています。また、鎌ヶ谷市民健康意識調査は、市民の健康に関する意識や行動、今後の健康づくり活動に関する意見などを総合的に把握し、『第二次いきいきプラン・健康かまがや21』『第2次食育推進計画』の達成状況の評価と見直し、および次期計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

市民健康意識調査報告書（案）について、ジャパンインターナショナル総合研究所の深町さんお願いします。

ジャパン
インター
ナショナル
総合研
究所

アンケート調査について、ジャパン総研深町より説明を続けさせていただきます。

事前に配布をさせていただいた、資料3の調査報告書案と、資料4の調査結果概要版を用いてご報告いたします。こちらの資料3は、今回実施した調査結果全体を掲載しているものであり、それらの取りまとめ版として、資料4の概要版をご用意いたしました。本会議では資料4の概要版を中心にご説明をさせていただきます。

内容の説明に入る前に、資料3調査結果報告書について、報告書の構成や見方を簡単にご説明いたします。まず、ページをめくっていただき、1ページ目には「目次」を掲載しております。全体の構成は、第1章で調査概要、第2章となります。第3章では、調査票の掲載を検討しております。また、第2章の調査結果は、調査票の項目に合わせて結果を掲載しています。

3ページをご覧ください。本調査の目的などは、事務局より説明がありましたので、省略しますが、今回報告書に掲載している結果は、郵送での実施分と、インターネット調査結果の両調査を統合した結果となります。有効回収数及び回答率も同様に、とりまとめの結果となります。（有効回答：郵送1,017件・インターネット調査222件 計1,239件）

続きまして、調査報告書の構成は、18ページの「2. 食生活について」を参考に説明いたします。結果は、全設問に対して、グラフから読み取れる内容を、まず文章で掲載しています。また、ページ中段で掲載しているグラフは、単純集計結果となります。前回も同様の質問している内容は、上下で比較できるように掲載を行っています。また、ページ下の表は、各設問のクロス集計結果を掲載しています。表内のグレーの網掛けは、横軸で見たときに最も多い割合を記しています。以降同様の掲載方法です。

次に、調査結果について、資料4調査結果概要をご覧ください。こちらの資料も、調査票や調査報告書の項目と同様に、全10項目で構成をしています。以降簡単に、調査結果のご報告させていただきます。

本調査の属性については、報告書の7～17ページに結果を掲載していま

す。アンケートでは、性別・年齢・居住場所年数・同居者などを把握しました。結果は、男女同数程度の回答があり、年齢は高齢の方の回答が多くなっています。同居者は、親と子どもが同居する「二世帯世帯」が最も多くなっています。

2つ目の食生活について、報告書の18～34ページに結果を掲載しています。アンケートでは、食習慣や食生活の状況、食に関する知識を把握しました。結果をみると、普段食生活で心がけている内容は、「野菜を多くとる」の割合が多く、若い世代では「食べ物を無駄にしない」が多く、食品ロスへの関心が高まっています。また、食事バランスガイドや、適切な食事内容・量、適正体重の理解など、知識は深まっていますが、若い世代を中心に健康に配慮した食習慣を実践できていない割合も多く、引続き行動を促す支援が必要です。

3つ目、身体活動や運動について、報告書では35～42ページに掲載しています。アンケートでは、身体を動かす頻度・習慣の把握を行いました。結果は、外出や運動習慣などが前回調査と同様の傾向である点や1日平均歩数が4000歩程度である点など、運動習慣の浸透がなかなか進んでおらず、なかでも高齢者を中心に運動不足やひきこもりの傾向などがうかがえます。また、30～50代も、日常的に運動する割合が少なく、食習慣の状況などと合わせると、生活習慣病の発症などが懸念されます。さらに、運動習慣のある人とない人の差が大きいことから、無理なく実践できる支援内容や体制の検討が求められます。

4つ目、休養と心の健康づくりについて、報告書では43～71ページに掲載しています。アンケートでは、心の健康状態をはじめ、悩みなどの相談先や、相談窓口の認知の把握を行いました。結果は、疲れなどや悩みストレスがあった割合は8～9割と多く、20～50代では、十分な休養やストレス解消法、相談先がない割合が2～3割いることから、周囲の理解と、適当な休養がとれる体制づくりが求められます。また、近年は自殺が大きな社会問題であり、各自治体で状況把握や対策計画策定が義務化され、鎌ヶ谷市でも次期健康増進計画に内包する形で自殺対策計画を策定する予定です。自殺に対する考えは、したいと思ったことはないが約8割と多いですが、若い世代や男性中年期で、自殺を考えたことがある割合がやや多くなっています。相談窓口や事業、ゲートキーパーを知らない人も多いことから、誰一人取り残さない体制構築に向け、世代ごとの状況に合わせた支援や、支援の周知啓発が求められます。

5つ目、たばこについて、報告書では72～80ページに掲載しています。結果をみると、喫煙割合は、前回に比べ10ポイント減少し、喫煙者の半数はたばこをやめたいと回答するなど、禁煙の考えが進んでいることがうかがえます。受動喫煙は、健康に悪い影響がある認識が進む一方で、全体の半数が経験ありと、喫煙者のマナー向上や分煙体制が進んでいない状況も予想されます。

たばこと病気の関連は、肺がん以外の認知が進んでおらず、COPDを知らない割合も多く、正しい知識の普及し、自らと周囲の健康への配慮が求められます。

6つ目、アルコールについては、報告書の81～84ページに掲載しています。アンケートでは、飲酒状況などの把握を行いました。結果は、「ほとんど飲まない」の割合が最も多く、飲酒する人も適度な飲酒量が多くなっています。

7つ目、糖尿病・循環器系の病気については、報告書の85～99ページに掲載しています。アンケート結果をみると、毎年の健診受診率は約8割と高くなっていますが、若い世代を中心に無受診者も多くなっています。医療機関への通院状況は、有病の診断を受けても、指導などを受けない割合が一定数いることから、今後は受診率向上に加え、適当な対応につなげていくことが求められます。

8つ目、がんについては、報告書の100～106ページに掲載しています。アンケートでは、各種がん検診の受診状況の把握を行いました。がん検診を受けていない割合は4割半ば以上で、無受診者の多くが、自覚症状がないことや前回調査で異常がなかったことなどを挙げています。定期的に各種検診を受け、早期の発見・対応が重要です。また、30～60歳代の受診できていない理由として、日時が合わない割合が多く、多様な人が受診しやすい検診などの体制が求められます。

9つ目、歯や口の健康について、報告書では109～120ページで掲載しています。アンケートでは、現在の歯の本数や、歯科健診の受診や口腔ケア状況を把握しました。結果は、健康指標でも掲げる8020や6024の達成状況をみると、8020が約4割、6024が約6割にとどまります。また、咀嚼も良好な状態を保てていない人が多くなっています。

10つ目、感染症予防について、報告書では、124ページ以降に掲載しています。アンケートでは、感染症予防で気をつけていることや予防接種の有効性の認識などの把握を行いました。結果は、感染症予防について、心がけていることとして手洗いが約9割と多くなっていますが、うがいや咳エチケットを実践している人は、やや少なくなっています。予防接種等の情報は、性年代によって様々であることから、多様な手段による情報発信が求められます。

事務局： それでは、ただ今の「第三次いきいきプラン・健康かまがや21」策定及び市民健康意識調査についてご意見、ご質問等ございますか。

杉山委員： 報告書31ページ問23「健康ちば協力店」を知っていますか、に対する回答で「いいえ」が多かったです。やはり啓発という点で難しいと感じました。（代理 藤川氏） これに限らず事業などについても啓発が、かなり大きなテーマになると思います。啓発について取り組んでいることを教えていただきたいです。

事務局： 「健康ちば協力店」についてですか。

杉山委員： 協力店だけに限らず、事業全般についての啓発方法についてお願いいたします。
(代理

藤川氏)

事務局： 啓発は、非常に難しく、広報やホームページなどで周知をしているところですが、結果的には知らない方が多いのが現状です。より一層工夫が必要と思っています。

クリーン推進課が作成している「ゴミ分別アプリ」は主婦層の方が多く利用されているようです。講座等の定員が足りない場合、アプリに募集を掲載することで参加者が増えることもあります。最近防災関連の情報も掲載されているので、市民にとっては便利なアプリになってきていると思います。

ゴミ分別アプリだけでなく若い層にはツイッターやSNSでの発信が、有効になると考えています。

子育てアプリも作っているので(子育て世代には)そちらを活用いただいております。

今井委員： チーパスは、全ての出生の方へご案内しています。出生の方へは児童手当との関連で、窓口へ来た方へお渡ししています。こども支援課でもチラシ配布、アプリの発信など協力できます。

石川会長： どんなに素晴らしい内容でも、しっかりとPRしていかないともったいないので、いろいろなツールを使ってPR活動をお願いします。他はいかががでしょうか。

滝口委員： 今回の調査結果を、興味深く拝見しました。特に資料3、21ページ問13アンケート結果の回答に「食べ物を無駄にしない」とあり、男性・女性共に15歳～19歳が高い値となっていました。おそらく学校での食育効果が出ていると想像できます。

また、30ページ問22伝統食を食べているかの質問に対して「はい」と回答した方が8割いたということは、この先の計画などで若い世代への食文化のアピールが今後増えていくと良いと考えました。

33ページ食を作ることを楽しんでいるという問に対する回答で男性70代、80代は「楽しくない」と回答でした。私も男性高齢者をターゲットにした料理教室を開催していますが、10年近く通っている方もいます。興味深い結果だったので、選出母体の栄養士会へ持ち帰って啓発のためにも参考にしたいです。

石川会長： コンサルタントの方は、他の自治体の調査なども行っていますか。難しい点もあるかと思いますが、他の自治体等との違いなどはみなさんの一番知りたいことでもあるので、鎌ヶ谷市において特化している点・改善すべき点などを今後教えていただけると良いなと思います。

(5) 令和元年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び令和2年度参加について(案)

石川会長: 次は、議題の5、令和2年度かまがや福祉健康フェアへの参加について事務局より報告をお願いします。

事務局: 令和元年度のかまがや福祉健康フェア開催報告及び令和2年度への参加について(案)をご説明させていただきます。

お手元の資料7をご覧ください。

令和元年度福祉健康フェアは「支えあい 広がれ 福祉と健康の輪」をテーマに昨年10月20日開催され、お忙しい中、鎌ヶ谷市医師会、船橋歯科医師会、船橋薬剤師会、船橋市栄養士会皆様のご協力をいただきまして実施することができました。ありがとうございます。入場者は天候にも恵まれ、前年度と同程度2,100人の参加がありました。健康づくり推進協議会と致しましては、8)健康づくり推進協議会の内容②の通りです。

令和2年度につきましても福祉健康フェアが開催されることとなりましたので、多くの市民の皆様の健康づくりへの啓発の機会となりますことから、健康づくり推進協議会として参加を予定しております。開催予定日は10月18日、日曜日となっております。全体の開催テーマ・内容等につきましては、2年度の実行委員会で随時決定されますが、健康づくり推進協議会としましては、昨年と同様に参加したいと考えております。また、認定NPO法人健康都市活動支援機構との協働も今年度同様に行う予定になっております。

来年度も、ご多忙中とは存じますがご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、資料の訂正がございます。資料7-2平成31年度を令和2年度に訂正をお願いいたします。

かまがや福祉健康フェア参加については以上です。

石川会長: 説明についてご意見・質問等あればお願いします

吉野委員: 料飲組合は例年食品展示・コーヒーを出展しています。私たちは参加する意義を感じていますが、役員・出展者の高齢化、展示品の食品ロスなどを問題視する意見が挙がっているため令和2年度から辞退する方向でお願いしたいです。

事務局: 実行委員の本部が健康増進課ではないため、実行委員に確認して調整する方向で、よろしいでしょうか。申し訳ございません。

吉野委員: 申し訳ございません。よろしく申し上げます。

事務局: せっかく市内にある団体なのでPRだけでもと思っております。当日参加が無理でも、展示のみでも可能です。コーヒーが凄く人気あるので、それだけでもご検討いただけますでしょうか。

吉野委員: コーヒーメーカーが老朽化している点、活動自体が大変になってきている点から辞退を検討しております。申し訳ございません。

事務局: 承知しました。手続きに関しては事務局へ確認しておきます。

石川会長: ほかはいかがでしょうか。本日の議題全体を通して何かございますか。

3 その他

石川会長: その他について事務局いかがですか。

事務局: ありません。

石川会長: これで議事を終了いたします。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和2年3月6日

署名人 今井 崇徳

署名人 和田 多恵子